

平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興プラン 【発災から 4 年後 進捗状況報告書】について

1 要旨・目的

平成 30 年 7 月豪雨災害の復旧・復興の取組について、現時点（発災から 4 年後）の進捗状況を報告する。

2 現状・背景

発災から 4 年が経過し、国，市町を始め、民間事業者の皆様や多くのボランティアの皆様などの取組の御支援に支えられ、これまで、被災された住民の皆様の一日も早い回復が図られるよう、速やかな復旧に最優先で取り組むとともに、この災害を起点として、被災前よりも更に良い状態に県全体を押し上げていく創造的復興を成し遂げるべく取組を推進してきた。

3 概要

(1) 対象者

被災された県民・事業者等

(2) 事業内容（実施内容）

県民生活や経済活動の日常を取り戻すために、4 つの柱で速やかな復旧・復興に全力で取り組む。

- ・ 安心を共に支え合う暮らしの創生
- ・ 未来に挑戦する産業基盤の創生
- ・ 将来に向けた強靱なインフラの創生
- ・ 新たな防災対策を支える人の創生

(3) スケジュール（進捗状況）

進捗状況については、別冊（報告書）のとおり ※総括的な進捗状況は p 5～p 8 に掲載

(4) 予算

平成 30 年 7 月豪雨災害発生以降の累計額

～創造的復興による新たな広島県づくり 4,349 億 9 千 4 百万円

（うち一般会計 4,082 億 5 千 9 百万円）

(5) 今後の対応

引き続き、被災された方々の一日でも早い日常の回復が図られるよう、復旧・復興プランに基づき、着実に取組を進めていく。